

令和3年度 田上町立羽生田小学校グランドデザイン

田上の12か年教育
【目指す子ども像】
志をもって
意欲的に学び
自律と思いやりの心をもつ
たくましい子ども



【小学校のミッション】
豊かな体験を通して
主体性と自己有用感を育む
学校づくり

教育目標

**羽ばたけ
未来を生きぬく 田上っ子**



目指す子どもの姿（重点目標）

**目標に向かって考え
高め合う子**

田上の子どもに身に付けさせる「5つの能力」

- ◎田上への愛着心
 - ◎自分の夢に向かう力
 - ◎課題を捉え、解決する力
 - ◎自分のよさと可能性を見つけ、発揮する力
 - ◎よい人間関係を構築する力
- 「5つの能力」を評価する「4つの行動」
- 人の話をしっかり聞くことができる。
 - 自分の考えをもち、伝えることができる。
 - 自分の役割を果たすことができる。
 - 明るいあいさつができる。

<「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業の継続>

- 「内発的動機付け」で主体的な授業にしよう！
- 自尊感情と自己有用感を覚え、自信と意欲をもてる授業にしよう！
- 友だちと課題解決に取り組み、みんなで「最善解（納得解）」をつくり出す授業にしよう！



(羽生田小 HP「いじめ防止対策基本方針」もご覧ください)

教科学習の面白さ、楽しさを生む 授業づくり	いじめ、不登校を生まないために 児童と向き合う場の確保	たくましい心身の育成
<p>1 成果目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ○国語や算数で「学習したことが分かる」と評価した子が85%を上回る。 ○他のことをしないで[学年×10]分以上家庭学習に取り組む子が85%を上回る。 <p>2 教育活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「『問い』を生む学習課題」【主体的な学び】 ○「主体的な『かかわり』の組織」【対話的な学び】 ○「『見方・考え方』を育て、『できる・分かる』を自覚させる単元」【深い学び】のある授業を行う。 ○年3回の家庭学習強調週間を実施し、家庭学習を主体的に取り組めるよう指導する。 <p>3 運営活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ○継続的な校内研修を重ね、子どもの問いを生む学習課題の在り方や主体的なかかわりを組織する方策等を具体的に共有する。 ○「Which型課題」や「まなボード」を活用した授業等を公開する。 ○学年だよりで、保護者へ子どもたちの取組の様子等について知らせる。 	<p>1 成果目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分で判断し、よりよい行動をする子が85%を上回る。 <p>2 教育活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ○主体的に取り組めるように、月のめあてと関連付けた学級のめあてを立てたり、振り返ったりする時間を設定する。【主体的な学び】 ○かかわり合いを通して、自分の成長や向上などを感じられるように、活動の終末を工夫したり、振り返りの場を設けたりする。【対話的な学び】 ○学んだことを活かして、自分の行動について深く考えさせるような道徳の授業を行う。【深い学び】 ○2か月に1回程度、ソーシャルスキルを取り入れた授業を行う。【深い学び】 <p>3 運営活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ○数値化、よい行動の記録、道徳の授業の振り返りや感想の蓄積等で子どもの変容が見えるようにする。 ○月目標について職員の共通理解の場をもつとともに、全校児童に指導する場を設ける。 ○意図的に異年齢集団(おりづる班)を組織して、活動が終わったら、互いを認め合う場を設ける。 	<p>1 成果目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ○目標に向かい、進んで運動する子が85%を上回る。 ○「たけのこ週間」で「就寝時刻」や「メディア使用の時間」を自分で決め、実践できた子の割合が75%を上回る。 <p>2 教育活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「体育振り返りカード」や「たけのこカード」のめあてを立てて実践に取り組む。【主体的な学び】 ○球技運動などで作戦を相談し合ったり、マット運動や鉄棒運動などお互いの動きをチェックしアドバイスし合ったりして、他者とかかわり合いながら自分やチームの技術を高めようとする。【対話的な学び】【深い学び】 ○「たけのこ週間」前に睡眠の改善やメディア使用についての指導を行い、めあてをもたせる。 <p>3 運営活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「体育振り返りカード」を使用する。 ○学年・学級だよりで、「たけのこ週間」の働きかけや結果を知らせる。

<特別支援教育の推進>

- 子どもたちの教育的ニーズに応じた適切な学級経営、授業の工夫改善に全校体制で取り組む。
- 自己有用感を高め、長所を生かす指導や支援の実践・評価・改善に取り組む。
- どの子も見通しをもって取り組み、成就感を味わうことができるよう授業の工夫改善に努める。

<プログラミング学習と タブレットによるICT活用の推進>



- 【年間指導計画への位置付けと改善】
- 各教科の指導計画にプログラミングとICT活用を位置付ける。
 - 年間指導計画に基づく取組をとおして感じた手応えや次年度に向けた改善を追記する。



<地域を支える人材を育むキャリア教育の充実>

- 保護者との適切な連絡・相談の実施
- 学習支援ボランティアによる学校の伝統や地域の環境を生かした教育活動の充実
【見つけよう田上の宝～身近にあるもの、梅・竹・米～】→キャリア・パスポート
- 学校だより、学年だより等による教育活動の紹介
- 安全な生活、規範意識、基本的な生活習慣の育成のためのPTA・地域・関係機関との連携
【「田上っ子宣言」、「アウトメディアウィーク」、「たけのこカード」】
- 自然災害等の危険から身を守るための家庭・地域との連携
- 田上版コミュニティスクール(学校運営協議会)による教育活動への支援



<家庭での生活のめあて>

- ①家族や地域の人と挨拶ができる子ども
- ②決めた家の手伝いができる子ども
- ③決めた時刻に寝ることができる子ども
- ④家で読書ができる子ども
- ⑤メディアの、決めた時間を守る子ども